

藤枝市文学館第5回特別展

# 大正ロマン展

～ “まさを” と “夢二” ～



左上：加藤まさを「バラのたより」  
左下：竹久夢二「エイプリルフール」

中央上：竹久夢二「玉椿」(部分)  
中央下：竹久夢二「青いかんざし」(部分)

タイトル横：加藤まさを「遠い薔薇」表紙絵(部分)  
右：加藤まさを「月の夕」

平成 29年 2月18日 土 ～ 3月31日 金

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)

TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514

E-メール muse@city.fujieda.shizuoka.jp

協力：加藤まさを事務所・アトリエそらび

藤枝市郷土博物館・文学館 検索

休館日：月曜日(祝日は開館、翌日休館)

開館時間：午前9時～午後5時

入館料：大人(一般)400円、(団体20名以上)320円

子育て優待カードをお持ちでお子様連れの方320円

中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方無料

**講演会** 要・当日入館券

**【祖父・竹久夢二を語る】**

と き／2月18日(土) 14:00～15:00

ところ／文学館講座学習室

講 師／竹久みなみさん

定 員／70名(申込順、2/10受付開始)

**コンサート** 要・当日入館券

**【名曲「月の沙漠」にふれる】全4回**

今なお多くの市民に親しまれている「月の沙漠」を様々なアレンジで聞いてみましょう。

と き／14:00～15:00

ところ／文学館講座学習室

定 員／70名(当日先着順)

第1回：2月25日(土)

<オールドジャズ>Hiddy&Satty

第2回：3月12日(日)

<合唱>藤枝少年少女合唱団

第3回：3月20日(月・祝)

<邦楽(箏・三絃・尺八)>藤枝市文化協会三曲部(成岡社中)

第4回：3月26日(日)

<クラシック(管弦楽)>志太室内楽団

**ワークショップ** 要・材料費(200円)

**【マープリングでブックカバーを作ろう】**

と き／3月4日(土)

開始時刻／①10:00②11:00③13:00④14:00

所要時間／約1時間(目安)

ところ／郷土博物館2F 旧体験学習室

対 象／小学生～大人(小学1,2年生は保護者同伴)

定 員／各回4名(申込順)

申 込／TEL・FAX・メールで郷土博物館・文学館へ

服 装／汚れてもよい服装でお越しください

**ワークショップ** 要・材料費(100円)

**【「月の沙漠」の砂絵をつくろう】**

と き／2月4日(土)～3月28日(火)のうち土日祝日

受付時間／9:30～10:00

所要時間／約1時間(目安)

ところ／文学館2F体験学習室

対 象／小学校3年生～大人

定 員／各回4名(当日先着順)

申 込／直接お越しください

服 装／汚れてもよい服装でお越しください



第5回 藤枝市特別学展館

大正ロマン展

「まさ」と「夢二」



▲加藤まさを「晩春」(上方屋平和堂絵葉書) 藤枝市文学館蔵



▲加藤まさを「びなんかづらの憂鬱」(上方屋平和堂絵葉書「花の精」第2集) 藤枝市文学館蔵

平成29年(2017)は、加藤まさを(本名・正男)が志太郡西益津村(現・藤枝市大手)に生まれてから120年目となる節目の年です。

幼少期を祖父母とともに藤枝で過ごしたまさをは、西益津尋常高等小学校を修了後、父母のもとに上京します。立教大学在学中には学業のかたわら、詩や童謡、画を発表します。大正8年(1919)には「アンデルセン童話」『花の精』などの絵はがきを上方屋平和堂から次々と刊行したところ、これが大変な人気を呼び、一躍有名になりました。

まさをは、抒情画家としての活動に加え、小説の執筆や薔薇楽譜出版社の設立など、活躍の幅を広げていきました。



▲竹久夢二「七夕」(『婦人グラフ』) (株)港屋蔵



▲竹久夢二「椿姫」(セノオ楽譜) (株)港屋蔵

抒情画の礎を築いたといわれるのが、竹久夢二です。「夢二式美人」とも称される独特な雰囲気美人画を生み出した夢二は、グラフィックデザイナーの先駆けとも評価され、その作品は今なお多くのファンに愛されています。

本展では、大正ロマンの時代を代表する抒情画家である、加藤まさをと竹久夢二が残した美しい作品の数々をご紹介します。大正から昭和にかけて一大ブームを巻き起こした作品に囲まれ、大正ロマンの世界を感じていただければ幸いです。

**加藤まさを(1897-1977)**

静岡県志太郡西益津村(現・藤枝市大手)生まれの抒情画家・詩人。大正から昭和にかけて、竹久夢二らとともに抒情画の全盛期を築いた。

幼いころから絵を描くことや歌を歌うことを好み、学生時代から詩や童謡、画を発表していた。上方屋平和堂から刊行された絵はがきが人気を呼び、一躍有名となる。大正12年に発表された「月の沙漠」は、佐々木すぐるによる美しい曲を得て、今なお広く愛唱されている。



**竹久夢二(1884-1934)**

岡山県出身の抒情画家。『中学世界』にコマ絵「筒井筒」が一等入選。以来、少年少女雑誌へ憂愁を帯びた夢二式美人画を発表して一世を風靡した。

画壇に属さず、日本の郷愁と西欧のモダニズムを自在に表現した作風で、日本画・水彩画・木版画等制作を行うとともに、グラフィックデザインにも才能を発揮した。また、詩や童謡も数多く制作、詩画を融合させた芸術を開花させた。

